

### 今月の便り

#### アメリカオニアザミ

アメリカオニアザミはきれいな赤紫色の花ですが、ガクも葉っぱも茎も素手では触れないほど硬くとがったトゲだらけです。野生の大型のアザミの仲間の花は下向きに咲くことが多いのですが、このアメリカオニアザミは上向きで直径4cmほどの花が咲きます。ヨーロッパ原産ですが、アメリカから輸入された、穀物や牧草に混入して日本で増えていったため、「アメリカ」と名前が付いています。セイヨウオニアザミとも言います。1960年代には北海道に入り牧場の害草となっているそうです。高さ0.5-1.5mになる2年草で、原野や河川敷、道端などでよく見かけますがときには人家の庭に生えてくることもあります。小さいうちに抜かないと大変なことになります。アメリカオニアザミの種は、タンポポやノアザミと同様に綿毛がついていることが特徴です。綿毛が開くと4~5センチほどの大きさがあり、風に乗って広範囲に拡散され、爆発的に増えるので問題視されています。名前に鬼とつく植物はたくさんありますが、同類の植物よりも全体のサイズが大きかったり、トゲがあつたり荒々しい見た目のものに「鬼」と名付けることが多かったようです。(いとう)



#### 春の庭を夢見てタネ撒き！

春まき一年草の発芽は、早いものでは数日、通常は1週間から10日です。大きな種は発芽早く、細かい種は遅い傾向があります。どちらも発芽するまで撒き床は適度に湿った状態が良く気温が上昇する中で旺盛に成長していきます。春撒きは秋撒きに比べて育苗期間が短く初心者でも失敗が少ないというメリットもあります。小さな種から芽が出たときの喜びワクワク感、花が咲いたときの達成感は、タネまき園芸ならではの醍醐味です。一粒の種から育っていく姿がとても可愛いのです。春は好みの品種が選べ、大、中、小のタネの植えどきを逆算して苗を作ります。育てる種類のアレンジも出来て、管理も種蒔きから発芽、間引き、移植ポット上げ、肥料管理、花芽確認まで目が離せませんが、小さなタネからの生育管理も楽しく、自分で育てた花苗で、お庭を彩りましょう。

#### 【種の芽と根はどちらが先に出る？】

ふつう種皮を破って最初に出るのは根で、つぎに芽がでます。成長の為根による吸水が欠かせず、子葉が展開したあと本葉が出て光合成を始めます。(たかはし)

\*「今月の便り」 次ページへつづく⇒

# キャベツの高値

2025年は新年から話題の一つに野菜の高値がありました。特にキャベツは一玉1000円以上で売るところもあったとか。キャベツは5℃から25℃ぐらいまで耐えられますが、生育適温は15℃から20℃と比較的涼しい環境が好きな野菜です。全国どこでもその適温時期には作ることができる野菜なので店舗の野菜コーナーで通年売っている野菜です。でも去年は秋の暑さや冬の雨不足などで冬場のキャベツの路地ものの産地で上手く育たなかったとか。さてこの便りが発行される2月はどうなっているのでしょうか。今年の春、プランターひとつからでも家庭菜園に初挑戦しながら自然環境について考えるのも良いかと思います。(きのした)



## 緑の相談コーナー Q&A

豊かな土地では大豆は育たない？

ダイズは別名畑の肉と呼ばれるほどタンパク質と脂肪が豊かな豆。

ということは、やはり畑の土にも栄養がないと育たないのかと思ったら、なんと全くその逆で、ダイズはやせた土地ではないとちゃんと育たないというのです。試しに肥料を多く与えた畑でダイズを育ててみると、茎や葉っぱは通常より大きく育っていたにも関わらず、出来る実の数はやせた畑で育ったダイズの方が多かったのです。実は、これはつるボケという状態。ダイズは、肥料分が多いと茎や葉っぱが大きくなるかわりに、サヤの数は少なくなってしまうのです。豊かな土に育つダイズは実が少なく、やせた土に育つダイズは実が多いなんて不思議ですよ。実はその秘密は、ダイズの根っこに隠されていました。ダイズの根には白くて丸い根粒という粒がついていて、その中に根粒菌というバクテリアが沢山いるのです。普通、植物は成長に不可欠な窒素を空気中から直接吸収できないので、土の中に溶け込んでいる微量の窒素分を根っこから吸収しています。ところがダイズの場合は、根についての根粒菌が空気中の窒素を吸収しアンモニアに変えてダイズに渡しているのです。一方、ダイズは光合成で得た糖分を根粒菌に渡しています。このダイズと根粒菌が助け合っている関係を「共生」と言います。しかし、この根粒菌、豊かな土地では他のバクテリアに負けてしまいつきにくくなるので、ダイズは根粒菌がつきやすいやせた土地でないとうまく育たないのです。ところで、なぜダイズは生で食べられていないのでしょうか？生のダイズをかじってみると、なんと吐き出すほどの苦さ。実は、ダイズにはダイズサポニンという苦みの物質が含まれているのです。このダイズサポニンは、いったりゆでたりして熱を通せば苦くなくなるのですが、生のままだととても食べられません。いった豆が好物のシマリスやチンチラやリスザルだって、生のダイズは捨ててしまいます。ダイズは、この苦みの成分で自分の身を守っているのです。

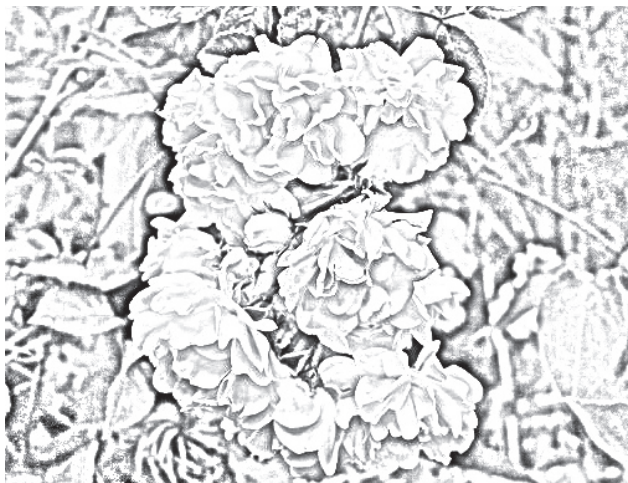
ちょっと  
いっぷく



# ひとつき ひとバラ



文： 曾 根 浩 太  
(いわみざわ公園バラ園)



## 第百二十二回

クライマー

### ローゼンホルム

Rozenholm

作出国：デンマーク

作出者：L. Pernille Olesen、

Mogens Nyegaard Olesen

作出年：1988 年以前

ハーディネスゾーン：Z6

返り咲き 交雑：不明

1月中旬くらいからは岩見沢も少し降雪が  
落ち着き、やっと毎日の除雪から少しゆっ  
くりできるようになりましたね。とはいっ  
てもこれからもまだ降る可能性は十分に  
ある時期なので油断せずにいきたいと思  
います。今回は先月に引き続き、冬に負  
けない伸びたまま越冬してくれるつる  
バラ、ローゼンホルムを紹介させてい  
たきます。ローゼンホルムは小輪房  
咲きのつるバラで花色は淡いピンク、  
半八重咲きでくしゃとしたフリル  
のような花びらが可愛いバラです。  
花は超遅咲きで、一番花は7月の  
中下旬に咲きます。返り咲きはする  
ものの、残念ながらあまり咲かずに  
終わってしまうことも多い品種です。  
本州では一季咲きとしているよう  
です。樹高は300 cm程度  
になるつるバラで、当園でもトレ  
リスの上まで伸びています。前  
回のボニー同様、Z6にしては耐  
寒性が強く、当園ではトレリス  
ごと防風ネットで囲って越冬  
させています。多少凍害がは  
いることもありますが、ほ  
ぼほぼしっかり越冬でき  
ているという実績があり  
ます。当園のクライマー  
では1番安定性がある  
品種だと思います。太  
めのベールシュートも  
多く出す品種ですの

で、枝の更新も容易に行うことができ、ラ  
ンブラーに比べると枝は固いものの扱い  
やすいバラだと思います。病気にも強く、  
黒点病にもかからないので秋に花は咲  
かない場合でも緑が残ります。作出は  
デンマーク老舗のナーサリー、ポール  
センから L. Pernille Olesen、  
Mogens Nyegaard Olesen  
のお二人です。この二人、ご夫婦とい  
う関係らしいですね。このお二人が  
作出したバラはバラ園にも多く、ロー  
ゼンホルムの近くに植えてあるダイ  
ヤモンドボーダーや整形式のイン  
グリッドバーグマン、H.C. アン  
デルセン等があります。ローゼンホル  
ムは Courtyard® Collection  
というシリーズの一つになります。  
Courtyard は中庭という  
意味で、このシリーズは中庭でも  
楽しむようにつるバラでもそれほど  
背が高くなり、鉢や小さい花壇でも  
生育するバラのシリーズになり  
ます。ローゼンホルム以外は  
当園にこのシリーズはありません  
が、他のバラも気になりますね。  
ローゼンホルムの名前の由来は  
おそらくデンマークにあるお城  
の名前からとられたのだと思  
います。遠いデンマークのお城  
でもこのバラが楽しま  
れているのかもしれない。



# 木香薔薇と奏でる二胡の調べ



3月20日(木) 春分の日  
色彩館大温室 14:00～

中国の楽器  
二胡の音色が響く  
麗らかな春のひと時を



## 色彩館からのお知らせ

色彩館大温室ではミモザが見ごろを迎えてきています。ジンチョウゲやクレマチスも咲き始めてくる頃です。まだまだ外は冬景色。一足早い春を感じてみませんか？  
たくさんのご来園お待ちしております。

## 今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い！



●2月8日(土) 10:00～12:00 おりがみでバラを作ろう 中級

参加費：無料 定員：15名 講師：バラ園スタッフ

持ち物：筆記用具、おりがみ

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話:0126-25-6111 ホームページ:<https://iwamizawa-park.com/>

※資料をご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3～4日位前までにお申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。